

鳥取県農業活力増進プラン(案)に関するパブリックコメントの実施結果について

平成27年3月10日
とっとり農業戦略課

本県農業の活力増進につながる施策を推進するため、現在「鳥取県農業活力増進プラン」策定に向けた検討を進めていますが、パブリックコメントの実施結果について報告します。

1. 意見募集の実施結果

(1) 募集期間

平成27年2月17日（火）から平成27年3月2日（月）まで

(2) 意見件数

29件（13名）

(3) 主な意見と対応方針

区分	主な意見	対応方針
プランのあり方	10年後を見据えたプランというが、現場では数年先までが勝負とを感じる。そこまでの集中的プランが必要ではないか。TPPもどうなるかわからない。	具体的取組については、当面3年間程度集中的に強化すべき対策を位置づけています。なお、今後の情勢変化に応じて必要な対策を追加するなど、適宜、プランの見直しを行ってまいります。
	県が目標を掲げ、ついてこいと見える内容であり、知事が推進するパートナー県政と進め方が異なるのではないか。最も重要な農業者やJA、市町村の意見は聞いているのか。	プラン案については、生産者、JA等関係機関の皆さんから御意見・御提案など伺った上で策定したものです。今後、プランの推進に際しても、関係者の皆さんとの連携をしっかりととりながら、各種取組を進めてまいります。
	投入経費欄について、これからの各投入経費に免罪符を与えることになりかねないので、削除をお願いしたい。	投入経費欄の額は、プラン中に記載した重点推進項目別の取組を実施する上で、必要と考えられる額を積み上げたものです。予算化に際しては、事業効果など検証を行った上で、県議会と相談しながら必要額を予算措置していくこととなりますので、ご理解ください。
目標設定	<ul style="list-style-type: none">「仲間が増える」というのはいいキーワード。就農者が増えれば地域も元気になるので、新規就農者の目標数値を上げるべき。所得や産出額など、目標値が少しもの足りないなので、再考いただきたい。国の輸出目標額の大きさを考えれば、県の輸出目標設定数値は低すぎるように思う。	目標指標については、現況数値、これまでの傾向など踏まえた上で設定したものです。今後の達成状況によっては上方修正を行うなど、適宜、必要な修正を行ってまいります。
表現・記載	10ページの方針4で、農業の役割が記述してあるが、環境、防災、景観、教育など多面的な機能や役割の記述が不十分かと思う。	御意見を踏まえ、プラン本文を修正しました。
追加すべき取組	先輩たちが築いた篤農家の経験知、暗黙知などの技術承継に向けた取組を加えるべき。	御意見を踏まえ、プラン本文を修正しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・田畑転換できる改良事業を導入し、野菜等の導入ができる可能性を求めるべき。 ・ICTを活用しながら農産物オーナー制度を海外展開することで、農産品の輸出拡大につながるのではないか。 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見については、今後、具体的な取組を検討する上での参考とさせていただきます。 ・なお、水田の畑地化を図る際、農業基盤整備促進事業を有効に活用することで、農家負担なしで施工することも可能ですので、ご活用ください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消を強力に進めて欲しい。 ・高齢者でも農業ができる「小さな農業」を推進して欲しい。 ・6次産業化・農商工連携について、効果的でわかりやすい取組を期待している。 ・経営試算について、経営費など実態に沿ったものに改訂してはどうか。 ・国や県、市町村など、プランを運用（実行）するための人員確保が必要。 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御意見の内容については、重点推進項目として、既にプランに位置づけたものもあり、今後、取組みを強化してまいります。 ・経営試算については、一定の条件下による参考値ですが、実際に県内で営まれている農家をモデルに試算したものです。なお、試算前提となる生産物や生産資材の価格動向など踏まえた上で、必要な見直しは、適宜行ってまいります。

2. 今後の予定

- JA、市町村等関係団体の意見集約等と並行してプラン案のとりまとめを行い、本年3月末を目途として成案をとりまとめる予定。